

先人の想いが詰まった落ち葉に触れ合う

# 体験落ち葉掃き

1/14 Sat  
参加費 300円



武蔵野の面影を残す平地林が残る三芳町。平地林の自然を満喫しながら、三芳町の農業や知恵を探ってみませんか？落ち葉掃きを体験した後に落ち葉持ち上げコンテストを行い、みよし野菜がたっぷり入ったけんちん汁や蒸かしイモも味わうことができます。

- 日程 / 平成 29 年 1 月 14 日(土) ※予備日 1 月 21 日(日)
- 時間 / 9:15 ~ 13:00 (9:00 受付開始)
- 場所 / 多福寺境内 ■定員 / 150 人
- 持ち物 / お弁当、水筒、お椀、おはし、軍手、タオル、マスク、レジャーシート ※服装は長袖長ズボンと運動靴
- 申込方法 / 観光産業課に申込書を提出または電話で申し込み。1 月 10 日(火)締め切り。  
※申込時、参加者全員の氏名・住所・年齢・連絡先をお知らせください。
- 問い合わせ / 観光産業課 農業振興担当 内線 219



武蔵野の大地の恵みを、体験しませんか。

## 落ち葉を掃き、歴史に触れる。

三芳町の野菜が美味しい理由の一つ、「落ち葉堆肥農法」。毎年町内各所で開催される落ち葉掃き。三芳町主催以外にも今回の特集に登場した三富落ち葉野菜研究グループ、みよしグリーンサポート隊で落ち葉掃きを実施。年に数回しか行われぬ貴重な体験をし、三芳町の歴史に触れてみませんか。

### 三富落ち葉野菜研究グループ 落ち葉掃き 参加費 500円

問 グループ代表：早川徹 ☎ 049-258-2453

要事前連絡

▶実施日 1/15(日)・22(日)・29(日)

「農」の楽しさを落ち葉掃きや農作業、えだまめがりなどを通じて体験してもらう活動をしているグループです。落ち葉でつくった堆肥を畑に施し、夏には収穫体験として「えだまめがり」が行われます。



### みよしグリーンサポート隊 隊員募集中

問 三芳町環境課 ☎ 049-258-0019 (内線 218)

町の各所を整備し、未来を担う子どもたちに自然豊かな環境を守っているグリーンサポート隊では、随時隊員を募集しています。また、緑地公園周辺で落ち葉掃きを 1 月 15 日(日)実施。集めた落ち葉は「みよし野菜」の栄養分となる堆肥として活用されます。グリーンサポート隊の一員となり、一緒に三芳町の自然を守りたい人、落ち葉掃きに参加したい人(若干名)は三芳町環境課へご連絡ください。



# 落ち葉の恵み。

三芳町は、武蔵野の美しい平地林と、整然と区画された畑を残す町として広く知られてきました。三芳町といえば「緑豊かな町」とイメージするほど、平地林があることは当たり前前となっています。

三芳に暮らした先人たちが長い年月をかけて知恵と工夫を凝らし、三芳町を築きあげてきました。先人が残した平地林を守り続けた結果、今も緑豊かな環境のなかで、私たちは暮らすことができます。そして、現在も

多くの農家で平地林の落ち葉を堆肥にし、手間を惜しまず先人の想いを守りながら、美味しい野菜を生産しています。

「マ」を掃きます。参加者の体から湯気が上がる姿が見られるほど熱気に包まれます。農家の人だけで敷地の落ち葉を集めることは大変ですが、イベントとし、多くの力を借りることができま。

### 歴史を体験する

300年以上守り続けられている落ち葉堆肥農法の元となる落ち葉掃きを多くの人に伝え、三芳町の歴史と先人の想いを体験してもらうために、町内各所でイベントが行われます。

毎年三芳町主催で行われている「体験落ち葉掃き」。親子での参加が多く、楽しみながら「ヤ



1 多福寺周辺で行われた昨年1月の体験落ち葉掃きの様子。親子で参加する姿が多く、家族で町の歴史を体験することができる、三芳町自慢の行事となっています。2 体験落ち葉掃きは趣向を凝らし、楽しむ試みも。落ち葉上げコンテストでは、どれだけ落ち葉を持ち上げられるかを競います。3 落ち葉と触れ合うことは三芳町の歴史に触れるのと同じ。遊びながらふささを感じることは三芳町の魅力のひとつです。4 竹かごに詰め込まれた落ち葉を圧縮するために足踏みをしたり、中に入ったりします。落ち葉の感触はずっと忘れられないものとなります。

### 農業への理解を深めたい

三芳町の魅力の一つ農業を広めていくことが、地域活性に繋がると思い、落ち葉掃きイベントを20年続けています。例年延べ100人が参加している落ち葉掃きを体験したり、夏にはえだまめがりなどを行い、農業の楽しさ、理解を深めていく活動をしています。落ち葉で作られた肥料は土が元気になります。先人から受け継がれた畑をずっと守り続けていきたいです。



三富落ち葉野菜研究グループ 早川徹さん

→昭和40年代の落ち葉掃き。



### 平地林を守り続ける。

化学肥料などに比べ、落ち葉堆肥農法は手間がかかります。さらに相続税などの負担などがあり、平地林を守るとは農家の皆さんにとって簡単なことではありません。落ち葉掃きイベント

などを通じて、より多くの人に落ち葉堆肥農法を知ってもらうことが、先人から守り続けられた武蔵野の平地林を支えることとなります。